

第 11 回阪神つながり交流祭 2020

in 武庫川女子大学(経営学部シェアードスタジオ)

実施報告書（概要版）

令和 2 年 12 月

目次

P. 2	事業概要
P. 3	プログラム
P. 4	会場設営図
P. 5 ~P.10	プログラム詳細
P.11	学生実行委員の振り返り
P.12	アンケート結果

事業概要

1. **事業名** 第11回 阪神つながり交流祭 2020 in 武庫川女子大学 and オンライン
～コロナ禍での新しい人とのつながりを考えよう～
2. **日時** 2020年12月12日(土) 14:00～16:15
3. **場所** 武庫川女子大学 公江記念館7F シェアードスタジオ
4. **参加者数** 52名(内オンライン参加者22名)
内訳: 学生発表者29名(10名)、関係者16名(5名)、一般参加者7名(7名)
※()内は、オンライン参加者数
5. **目的** 阪神地域の大学・短期大学の大学生で構成されるつながり交流祭実行委員会が企画・運営の主体となり、地域団体や事業者、商店街等と連携して実施する地域づくり活動の促進をめざしています。大学生による地域連携活動の報告や大学生と参加者による意見交換・交流などを行うプログラムが展開されます。
6. **主な内容**
 - ・開会式(14:00～) あいさつ
 - ・山崎亮さんによる基調講演(14:15～15:00)
 - ・大学生による地域連携活動報告(15:00～16:00)
 - ・武庫川女子大学によるPR(16:00～16:10)
 - ・閉会式(16:10～16:15) あいさつ

主催 つながり交流祭学生実行委員会

共催 兵庫県阪神南県民センター

協力 武庫川女子大学 経営学部

企画・運営 NPO 法人コミュニティ事業支援ネット

《つながり交流祭学生実行委員会》

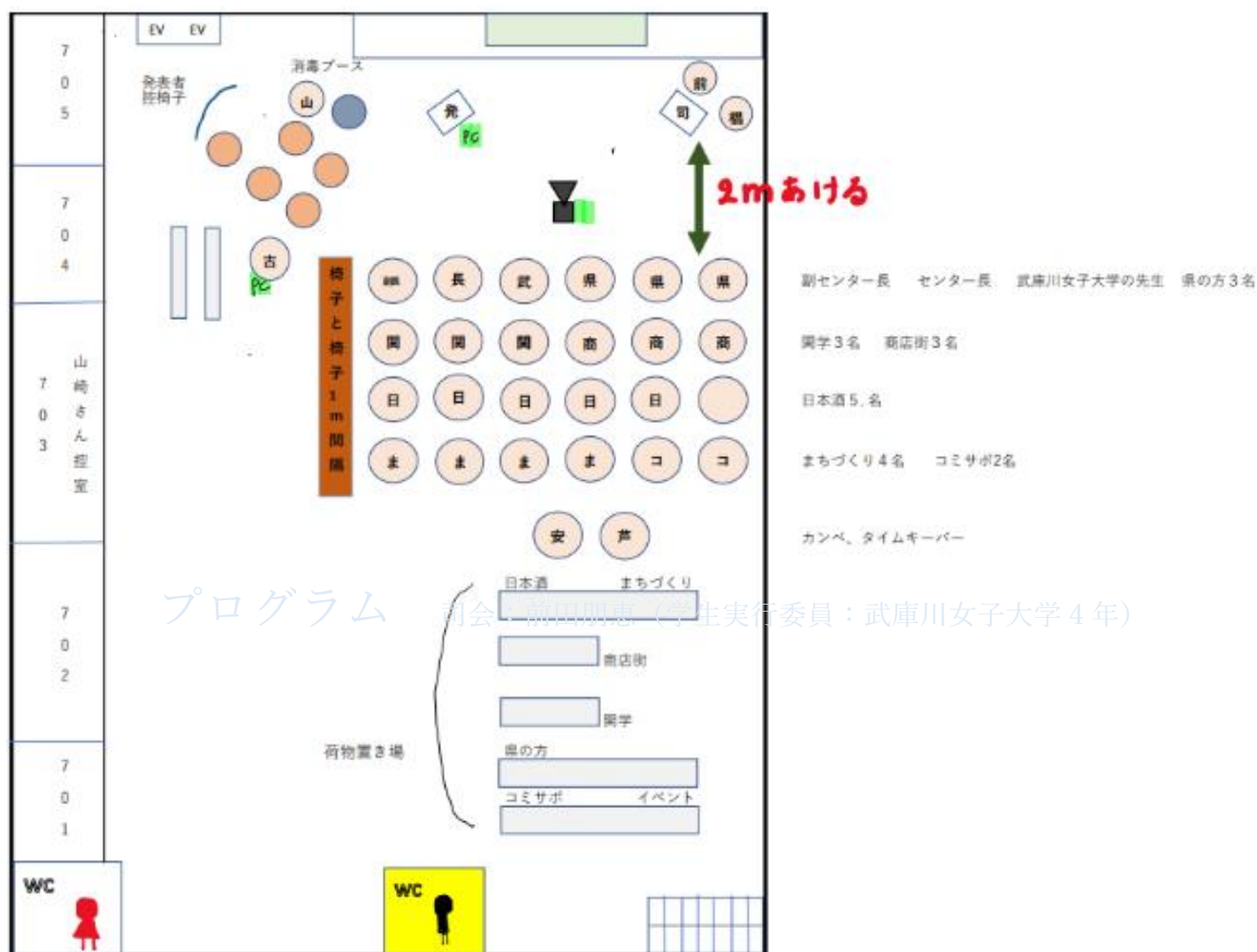
(阪神まち大学「イベントプロデュースコース」)

「阪神つながり交流祭」を企画運営するため、阪神地域の複数の大学の学生から構成される組織です。阪神地域の大学・大学生による地域連携活動の魅力を広めるイベントの開催を目的に活動しています。大学・大学生と地域が関わることの成果や課題を考え、コロナ禍での地域連携の在り方を探り、阪神地域の活性化に資するため10月末より企画してきました。

・内容 今回の「第11回阪神つながり交流祭2020」では、基調講演の山崎亮さんからまちづくりのヒントをいただき、その後に阪神地域の大学生が地域と連携する成果と課題を交えて発表してもらおうという機会をつくることを目的に活動してきました。初のオンライン開催のため、特にオンラインの時に気をつけることなどみんなで話し合いました。

会場設営図

14:00 開会



◆開会

あいさつ

兵庫県阪神南県民センター 県民センター長 (写真 2)

武庫川女子大学経営学部 経営学部長 (写真 3)

つながり交流祭学生実行委員会 (写真 4)



写真 1 開会前の会場の様子



写真 2



写真 3



写真 4

◆基調講演 コミュニティデザイン

~大学生や地域が関心が高めるまちづくり~

講師：studio-L 代表/コミュニティデザイナー/社会福祉士 山崎 亮 氏

まちづくりは、「成功した・失敗した」と結論付けるのではなく「学習できた・出会いがあった」というように関わる人に変化が起きたかどうかの方が大事である、ということを実例とともに講演していただきました。また、コロナ禍においてオンラインで進めていくまちづくりについて紹介していただきました。

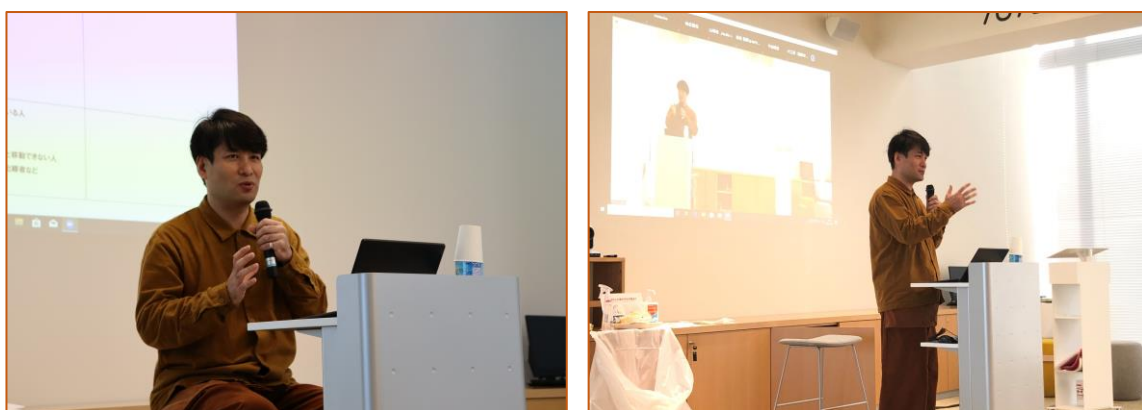
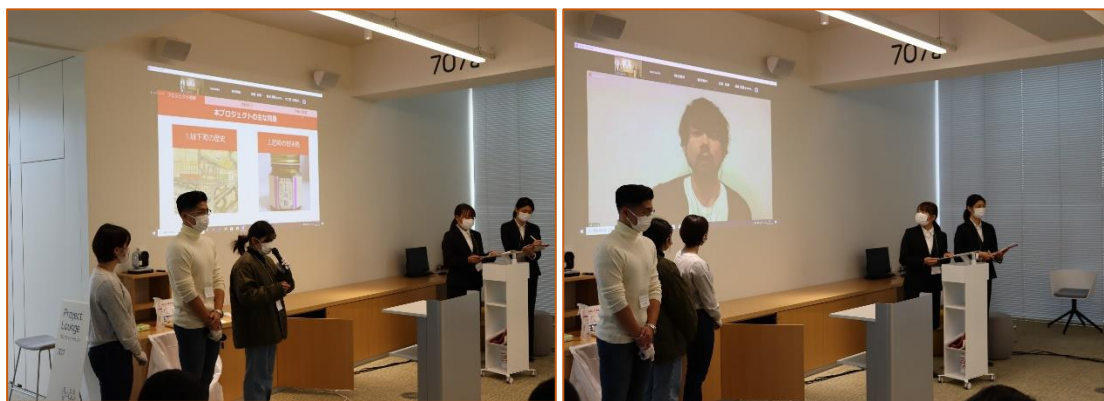


写真 コロナ禍におけるオンラインでのまちづくりについて話されている山崎氏

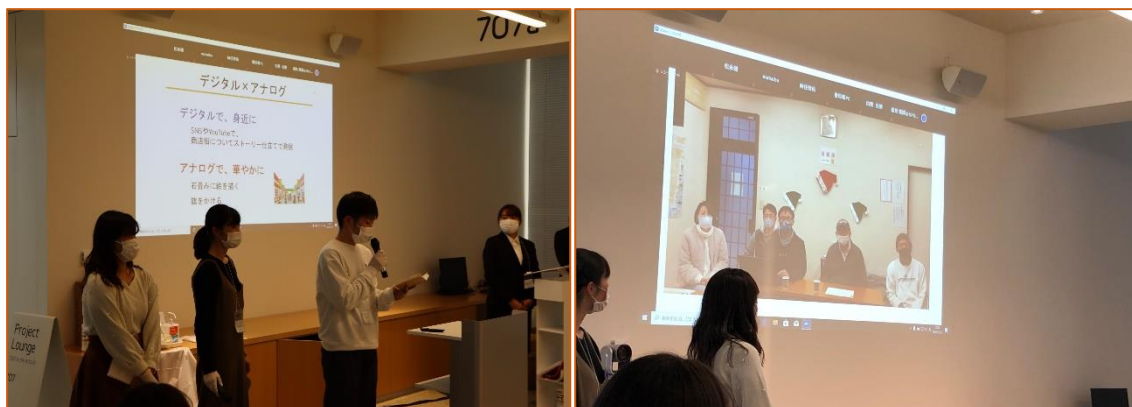
◆大学生による地域連携活動の発表&セッション

阪神まち大学の3つのコースと関西学院大学の栗田研究会、園田学園女子大学の2つのゼミの計6つのグループが各10分でそれぞれの活動報告とパネラーの方とのセッションを行いました。

1. 関西学院大学 栗田研究会



2. 阪神まち大学 商店街プロジェクトコース



3. 阪神まち大学 日本酒プロモーションコース



4. 阪神まち大学 まちづくりプロジェクトコース



5. 園田学園女子大学 地産食材によるストック eats プロジェクト

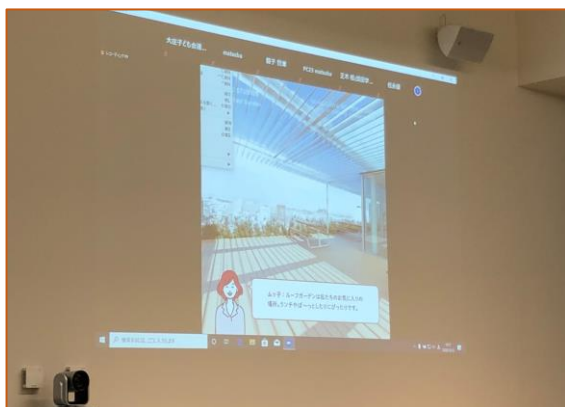


菅澤様（左）と発表学生（右）とのセッション

6. 園田学園女子大学 尼崎プロジェクト

◆武庫川女子大学の PR(動画 2 本)

武庫川女子大学・シェアードスタジオについての紹介ビデオを視聴しました。



経営学部各コースでの学びの内容やキャンパス内にあるシェアードスタジオの紹介動画

大庄地区子ども会連絡協議会とのセッション（発表学生は音声のみ）

◆閉会

あいさつ

つながり交流祭学生実行委員会

(写真 5)

兵庫県阪神南県民センター 副センター長

(写真 6)



写真 5



写真 6

学生実行委員の振り返り

実施学生：つながり交流祭学生実行委員会（阪神まち大学イベントプロデュースコース）

1. 企画段階

- ・コロナ対策、オンライン開催は未経験のことではありましたが、頭の中でシミュレーションを何度もし、話し合いをしました。
- ・皆他の用事で忙しい中でもオンラインミーティングであったため、参加できる回数が多かったです。

2. 当日の実施

- ・初めてのオンライン開催ということで様々なハプニングを想定していたため、無事に交流祭を終えることができました。
- ・本番中スライドを共有するパソコンにトラブルがあり、少しの間司会進行でつながりを行う場面がありましたが、多くの方の助けにより交流祭を継続できました。

3. 感想

- ・イベントの準備から当日運営の大変さを知ることができました。用意しなければいけない資料が数多くあり、資料一つを作る大変さも知ることができました。
- ・初めて出会った、年齢が違うチームであったがお互いに助け合いやり遂げる楽しさを経験し、きず

なが深まったと思いました。

4. 課題

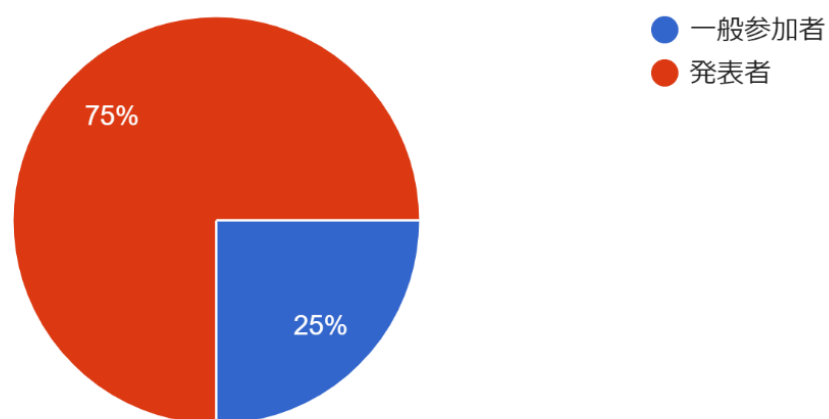
- ・イベント準備で作成した資料を Google Drive に更新した際に、他のメンバー・Slack への報告ができていなかったため、Google Drive を更新したら逐一 Slack での情報共有を行うよう心がけていきたいです。
- ・会場に行ってみないとわからないことが多々あり、下見の時にもっと細かくイメージする必要性がありました。

アンケート結果 (16名の回答)

①交流祭に一般参加者として参加しましたか？それとも発表者として参加しましたか？

一般参加者：4名（25%） / 発表者：12名（75%）

16件の回答

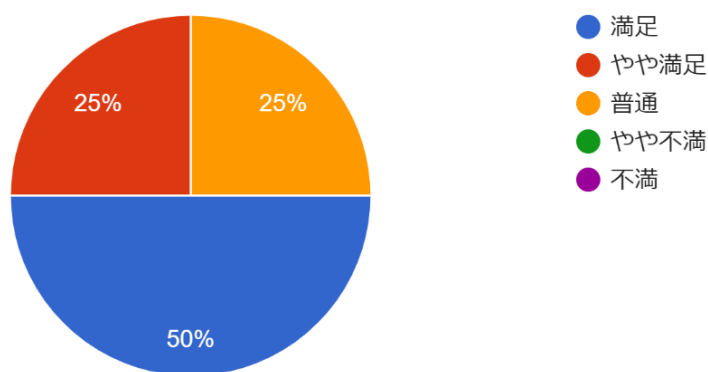


②一般参加者と回答された方への質問（4 人の回答）

Q.交流祭の内容に満足していただきましたか？

満足：2 名（50%） / やや満足：1 名（25%） / 普通：1 名（25%）

4 件の回答



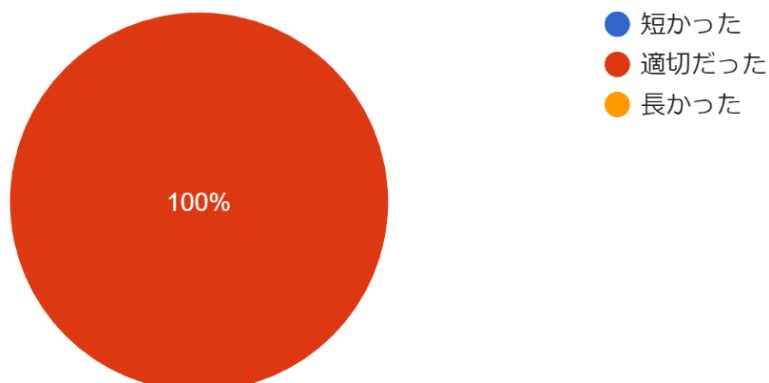
Q.交流祭の内容で「満足」「やや満足」と回答された方に質問です。そう感じられた理由を教えてください。

- ・大学生ならではの視点での町のみかた、解決に向けた発想が感じられた
- ・各グループの思考を凝らした企画を聞くことができたため
- ・事例発表内容と学生の活動の発表内容がよかったこと、所用があり途中退席したため

Q.イベントの長さは適切でしたか？

適切だった：4 名（100%）

4 件の回答



Q. Zoom に入出する際、トラブルや困ったことはありましたか？もしある場合、それはどんなことでしたか？

- ・ありませんでした
- ・特になかったです

Q.今回、交流祭に参加しようと思った理由を教えてください。

- ・若い世代の方々の視点を感じたかった、刺激を得たかった
- ・学生の地域との関わり合い度を知ること
- ・阪神まち大学に参加しており、他の参加者の活動にも興味があったため
- ・学生の活動や振り返り内容を知りたかったため

Q.感想や改善してほしいことなどを書いてください

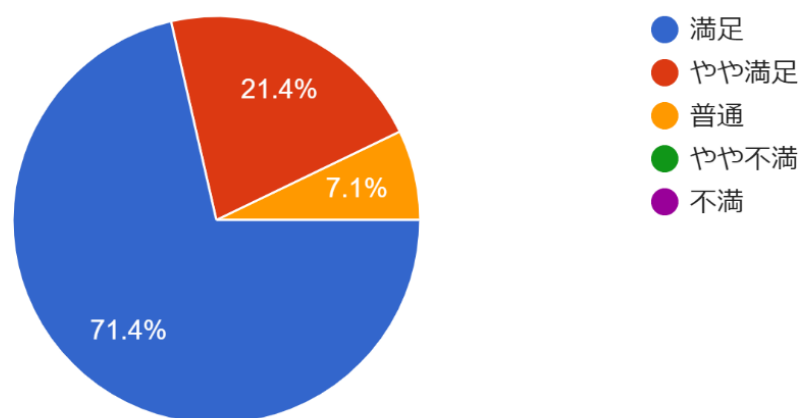
- ・オンラインで参加しやすく有難かったです。
- ・運営スタッフのおかげで、とても良いイベントになったと思います。ありがとうございました。

③発表者と回答された方への質問（14 名の回答）

Q.交流祭の内容に満足していただけましたか？

満足：10 名（71.4%） / やや満足：3 名（21.4%） / 普通：1 名（7.1%）

14 件の回答



Q.交流祭の内容で「満足」「やや満足」と回答された方に質問です。そう感じられた理由を教えてください。

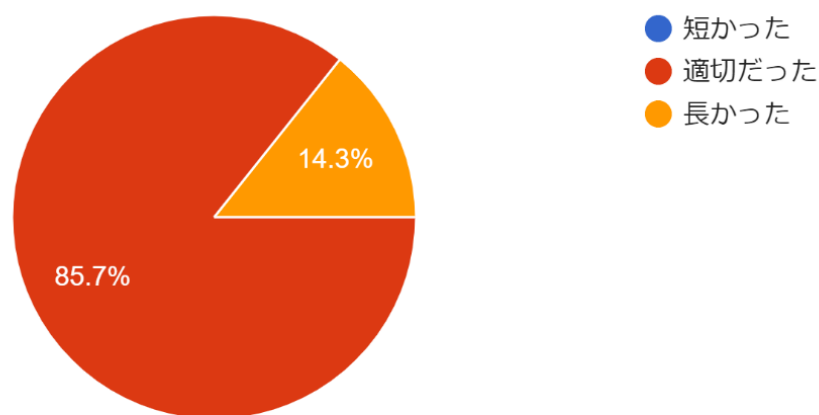
・山崎さんをはじめ、たくさんの方々の講演や発表を楽しむことができました。また、商店街プロジェクトコースや今後の人生において参考にすべき話をいくつも聞くことができましたので大変有り難かったです。

- ・進行もスムーズで、多くのチームの発表を聞くことができたから。
- ・スケジュール通りに進行しており、スムーズに運営できていたため
- ・ゲストスピーカーの方のお話が面白かったから。
- ・発表の内容がまとまっており、興味がわいたのです。
- ・私たち以外の活動について知ることができたため。
- ・他の活動についても詳しく学ぶことができ、自らの活動に刺激になったからです。
- ・山崎さんの貴重なお話を聞くことができた点と、発表の機会をいただいた点です。
- ・イベントを企画運営する側で様々なことが学べたから。
- ・基調講演の内容が充実していたため。
- ・基調講演が、阪神まち大学の活動と関連があり内容が充実していたため。

Q.イベントの長さは適切でしたか？ 14：00～16：15（2時間15分）

適切だった：12名（85.7%） / 長かった：2名（14.3%）

14件の回答



Q.イベントの長さが「長かった」と答えた方に質問です。特にどの内容が長いと感じられましたか？
(2件)

基調講演：1名（50%） / 後片付けの時間：1名（50%）

Q.感想や改善してほしい点などを書いてください。

- ・オンラインで参加できて有難かったです。
- ・当日パソコンの不都合があったため、不都合が起きそうな場面を想定し、前もってどのように対応するか把握しておくべきだと思う。
- ・このような機会があり勉強になりました。企画、運営ありがとうございました。またきれいな施設で発表できたこと光栄に思います。
- ・お忙しい中、貴重な機会をいただきありがとうございました。今後も何卒宜しくお願い致します。
- ・感染症の対策もしっかりされていて、安心して参加できました。オンラインでの発表ははじめてだったので、貴重な経験になりました。
- ・初めてイベントを企画運営して、資料1つ作ることの大変さや情報共有の難しさを学びました。いい経験ができたと思います。